

相生デイサービス新聞

発行所
相生DS
44-4165



桜と観覧車

床屋さん
4(金)
10(木)
23(水)
29(火)



ユーモアくらぶ

太郎と花子は
待ち合わせをした。

「じゃあ、駅で」

「わかったわ、駅ね」

次の日。

太郎は待った。

「花ちゃん遅いなあ」

花子は待った。

「太郎さん、」

どうしたのかしら」

それぞれに

別の駅で待ったの

だった。

二人は駅ちがい。

思い出の名画

「禁じられた遊び」

無邪気な子供たちを...

ギターの調べが

心に沁みました。

(昭和28年)



街も春色に染まってる

流水に反射する日ざしもやわらかくなりました。

すれ違う人の手

には昨日まで着

ていたジャケットが。

枝もあかるく伸び

てきました。

街は春色に染

まってるきました。

名句

うらうらかや

猫にもいふ事のこゑ

日野草城

季節の花



ザゼンソウ

※こんな
力があります。

開花する際に
発熱が起こる。
そのためまわりの雪を
溶かす。



(空蘭本線の車窓から)

桃 逸話

古河の城主

土井利勝は、貧しい民の
ために、桃のタネを江戸市中から
集め、古河のあらゆるところに
植えさせた。

桃は生長が早く、
剪定した小枝は薪に。
実は大いに。
花は人々の心を潤した。

旅...

日本で2番目に古い灯台
(明治2年) 野島埼灯台



食...

焼ハマグリ



天声珍語

忍者になった。

枯葉を集めて

空に放った。

体に降って、

木の葉隠れの

術だ

孫はまねをし

ておもしろが

った。

オニになった。

「もう、いいかい

「まあ、ただよ

木の陰から

きこえた。

「みつけた

馬になった。

「はしれ。

はしれ、はしれ

背中が喜ぶ

孫。

忍者に、オニに

馬に、オニに

春の一日が終る。

明日は

人間にもどっ

て、いつもの
道を歩きま
す。